

報 告

学生による金沢大学短期留学プログラムの 評価と評価に関与する要因

岡沢 孝雄・ビットマン ハイコ

はじめに

金沢大学短期留学プログラム（KUSEP：Kanazawa University Short Term Exchange Program）は1998年の10月に第一期生24名の留学生を迎え入れて始まり、2002年9月に第四期生が帰国するまで4年間で合計110名の留学生がこのプログラムで学んだ。この4年間に金沢大学と交流協定を結んでいる海外の大学も22校から45校へと増え、受け入れ定員も開始当初の20名であったものが第3期の2000年から25名へと拡大された。

KUSEP は必修科目の日本語、日本に関係することを学ぶ選択必修科目、専門を学ぶ選択科目および自主研究（希望する者）より構成されている。このプログラムは1年間または半年間の留学プログラムで、日本語科目以外の講義は英語でなされているが、日本語が必修科目であるという特徴を持っている。留学生は全員金沢大学角間キャンパス内にある留学生用の寮（国際交流会館）に住み、角間と小立野キャンパスで学んでいる。

KUSEP がこのプログラムに参加した学生にどのように評価されているか、どのような点が改善されなければならないかについては、毎年8月の講義が終了した時点で、留学生と関係する教員、職員との意見交換会を開いてきた。しかし意見交換会という短い時間の制約の中では、多人数の留学生の意見を十分にくみ取れない面が残り、結果の分析が難しいという問題もあった。そこで、第三期と四期の留学生を対象にしてプログラム終了時点でアンケート調査を行った。本稿ではアンケートの結果を提示し、分析を試みた。

I. 方 法

第三期（2000年10月～2001年9月）の学生30名と第四期（2001年10月～2002年9月）

の学生29名,計59名をアンケート調査の対象とした。8月初旬, KUSEP の講義が全て終了した時点で留学生に調査用紙を配り, 回答してもらった。アンケートの質問と結果は論文末の付録に示した。回答した学生は第三期24名(回答率80.0%), 第四期23名(79.3%), 合計47名(79.7.0%)であった。学生の国籍は12ヶ国, 送り出し大学を地域別に留学生数を見ると, アジア, ヨーロッパ, 北米がほぼ同じで約30%, オーストラリア10%であった(表-1)。性別は男23名, 女24名であり, 専門分野は文系28名, 理系17名, ダブルメジャーの文理系2名であった。留学期間は一年間の留学生40名, 半年間の留学生7名であった。必修科目の日本語の単位が取得できた学生37名, できなかった学生10名, 1年間のプログラムの修了証を取得した学生34名, 取得できなかった学生6名であった。

回答の結果は度数分布が著しく偏らない項目を変数として使って分析した。使用した項目は, 1) 性別, 2) 留学期間(1年, 半年), 3) 専門分野(理系, 文系), 4) 日本語の単位取得状況, 5) 終了証の取得状況, 6) KUSEPを選んだ理由(Q-3), 7) 来日前の資料の入手(Q-1), 8) KUSEPに関する情報の入手(Q-2), 9) 日本語のレベル(Q-5), 10) 選択必修科目の有用性(Q-7), 11) 選択必修科目は日本理解に役立ったか(Q-8), 12) 日本人学生との交流に満足したか(Q-16), 13) 修了証はプログラムを修了する目標になるか(Q-19), 14) 参加証は有用か(Q-21), 15) 単位互換の有無(Q-22), 16) チューターは役立ったか(Q-25), の16項目である。また総合的な KUSEP の評価は 1) 5段階に点数化した満足度, 2) 友達に KUSEP に来ることを薦めるか, 3) 勉強や仕事で日本に再びもどって来たいか, の3つを指標として用い分析を行った。使用した統計用コンピューター・ソフトウェアは Statview 及び HalWin である。

II. 結果と考察

1. KUSEP を選んだ理由

KUSEP を選んだ理由(Q-3:資料参照)を表-2に示した。「日本, 日本文化, 日本語, KUSEP 等に興味があった」という積極的な理由と, 「金沢大学が協定校である」とか「奨学金がある」という制度に関係する理由が大半を占めた。「KUSEP についてはあまり知らなかった」とか, 「自分で選んだのではない」という消極的な理由も少数あった。理由の構成比には地域的な差が見られた。アジアとオーストラリアの大学から来た留学生は「日本, 日本文化, 日本語等に興味あった」という理由が大半を占めた。アメリカの大学から来た学生は大部分の者が「協定校」と「奨学金」といった制

度的な理由をあげた。ヨーロッパの大学からの留学生は「興味」と「協定校」とがほぼ同数を占めた。

2. KUSEP に関する資料・情報の入手

日本に来る前に KUSEP と科目 (class) について十分な資料が得られたかとの質問 (Q-1), 資料やオリエンテーションからクラスについての情報が十分得られたかとの質問 (Q-2) には約20% (8/47, 9/47) が不十分であったと答えた。情報が得られなかったと答えた者が特定の地域, 大学に偏る傾向が見られた。今後各大学と個別に情報の交換を行い, 来日前に全ての学生へ資料が行き渡るよう改善されなければならない。また金沢大学に着いてからの情報の伝達についても, KUSEP 全体のオリエンテーション, 各科目ごとのオリエンテーションの強化が必要である。

3. 必修科目 (日本語)

ほとんどの留学生 (45/47, 96%) が日本語は必修科目であった方がよいと答えている (Q-4)。日本語の単位が取得できなかった者は47名中10名 (21%) いたが, その内9名が必修でよいと考えた。「自分の日本語クラスのレベルと自分の日本語レベルが合わなかった」と答えた者が10名 (21%) いた (Q-5)。しかし, レベルの適正・不適正は日本語の単位取得状況には関係していなかった。

日本語クラスに対するコメント (Q-6) は表-3に示した。意見の内容ではプレイスメントテストと自分のレベル, 教育内容の文法と会話についての意見が比較的多かった。クラスのサイズ (受講人数) について触れた者, 米国から来た学生で自分の国の授業の方法と金沢大学での方法が異なり苦労したとコメントした者がそれぞれ複数存在した。

4. 選択必修科目

選択必修科目は KUSEP の大部分 (38/46, 82.6%) の留学生にとって受ける価値があつて (Q-7), 日本理解にも役立っていた (36/46, 78.3%) (Q-8)。コメント (Q-9) は表-3に示した。コメントの約半数は「面白かった」「良かった」と答えていた。「選択必修科目をもっと増やす」と「深く教えて欲しい」との意見も複数あつた。また英語を母国語にしない学生2名から, 選択必修科目では日本語を使い講義をして欲しいという意見があつた。

5．選択科目

留学生の取りたいと思った科目（Q-10）とその頻度を表-5に示した。「日本文化体験」、「武道」の2科目を挙げたものが多かった。この2つの科目は専門が文系理系にかかわらず多くの者によって挙げられた。「日本文化体験」、「武道」以外に、文系15科目を24名の学生が、理系8科目を14名の学生が挙げた。当然のことであるが、文系の学生は文系の科目を、理科系の学生は理科系の科目を多く取りたいと考えていた。日本に関係する科目は特に文科系の学生によって挙げられた。取りたいと考えた理由（Q-11）では「興味」を挙げたものが圧倒的に多かった（表-6）。「日本文化を知る、理解する」、「自分の専門」を挙げた者がそれに次いだ。2名が「自分の大学ではできないから」と答えた。

6．自主研究

47名の学生のうち24名が自主研究を行った。ほとんどの学生が自分の研究に適した指導教官を見つけており（22名，92%），その指導に満足している（23名，96%）。

自主研究についてのコメント（表-7）の中にも自主研究を行い満足を表明しているものが多かった。「来る前に自主研究について考えるべきだ」という意見があったが、今後考えてみるべき課題である。

7．学生交流

KUSEPで学ぶ留学生は回答した47名全員が、KUSEPプログラムに来たことによっていろいろな国の留学生との交流の機会が与えられたと考えている（Q-15）。KUSEPの留学生の環境は、世界の様々な地域から来た留学生が一処に住み、同じクラスで学んでいる。その過程で交流が深まるのは当然の成り行きだと思われる。しかし、日本人学生との交流（Q-16）については半数弱の留学生（22名，47%）が満足していなかった。その理由（Q-17）は「日本人と会う機会や話す機会が少ない」というものが多かった（表-8）。現在 KUSEP の留学生は受講する講義は、KUSEP のために用意されたものが大部分で、またほとんどの居住者を留学生が占める大学内の寮に住んでいる。意識して外に出て交流をしなければ、日本人学生とあまり接触しなくともよい環境で1年間を送っている。KISS と Tomodachi（両者とも学生の留学生交流ボランティア団体）が例外的に留学生が住む寮の common room で定期的に留学生を交えた集会を開いている。これらのボランティア団体に対してのコメントがいくつかあったが、評価は2つに分かれていた（表-8，9）。このような状況の中で、日本人学生との交流の機会を増やすために（Q-18）、日本人学生と一緒にクラスで勉強するこ

とや日本人と混住の寮を望む意見が多かった。日本人学生と共に参加するさまざまな行事の提案もあった。注目すべき点として、部活に関する意見が3名から出された。短期留学生にとってのクラブ活動を含めた課外活動の可能性や意義を今後更に追求する必要がある。

8．修了証，修了単位数，参加証，単位互換，取得単位数，日本語単位取得

半数以上の留学生（25/46，54.3%）が、修了証の取得はKUSEPに参加する目標、プログラムをやり通す目標になると答えた（Q19）。しかし、目標に「なる」と答えた者と「ならない」と答えた者の間に終了証の取得率に有意差は見られなかった。現在年間20単位がKUSEP修了要件となっているが、ほぼ全員（45/46，97.8%）がそれでよいと答えた（Q-20）。参加証については60%以上の学生が有用であると答えている（Q-21）。KUSEPの単位がすべて互換できる大学は8校、一部できるのは6校、できない大学は8校（この内2校について、他の学生はできる、あるいは一部できると答えている）であった（Q-22）。わからないと答えている学生は10名いた。今後、単位互換のない大学へは互換できるよう働きかけと共に、それぞれの大学で来日前に単位互換について学生に説明してくれるよう申し入れする必要がある。

留学生の取得単位数は一年間の留学者（40名）で17～36単位（平均23.4，標準偏差3.7）、半年間の者で7～13（平均11.0，標準偏差2.5）であった。取得単位数と自分の大学での単位互換の可否との関係を調べると、有意な関係は検出されなかった。すなわち、自分の大学で単位が互換されるからといって、KUSEPでより多くの単位を取得することはなかった。日本語についても同様で、単位互換の可否と単位が取得状況との間に有意な関係は見られなかった。

9．住環境，学習環境

住環境については良かった点（Q-23）と改善すべき点（Q-24）を記述してもらった。良かった点について、最も多くの者が「寮（国際交流会館）の部屋」，「寮」それ自体，「common room」を挙げた（表-10）。寮が大学に近いことも良い点として挙げられた。施設の面の良い点では「インターネットアクセス」，「暖房」があった。寮は様々な国の留学生が住んでいるので，「いろいろな国の人との出会い」を挙げた者，「住んでいる学生や関係する先生・事務スタッフの親切さ」も複数の学生が挙げた。

住環境で改善すべき点は多岐に渡っている（表-11）。学外が関わる問題として「町からの距離」，「バスの不便さ」，「銀行や郵便局の問題」，学内の施設に関しては「図書館や公衆電話等の改善」の要望が高い。住んでいる寮に関しては，様々な設備が改善

すべき点として挙げられた。特に「インターネットアクセスが各部屋に欲しい」という者、「暖房の改善」を望む者が何人もいた。寮の中の管理の問題（ごみ、タバコ等を含む）を少なからぬ学生が指摘した。

大学がつけてくれるチューターが勉学のために有効だったかを尋ねると（Q-25）、46人中19名（41.3%）が「有効ではない」と回答した。チューターと日本語単位取得との有意な関係は見られなかった。またチューターが有効であった者とそうではなかった者の取得総単位数にも有意な差は見られなかった。

10. KUSEP に対する評価とそれに影響する要因

満足度：留学生に満足度を1から5の5段階で示してもらった（Q-26）。数字が大きくなるほど満足度が高く、5はとても満足したレベルを表す。アンケートでは1, 2を選んだ学生はおらず、全員3から5の範囲を選んだ。3は10名、4は27名、5は10名であった。平均値は4.0で標準偏差は1.0であった。KUSEPを友達に奨めるかという質問（Q-27）に対し47名中46名（97.9%）が「奨める」と答えた。また、勉強や仕事のため再来日したいかとの質問（Q-28）に対し44名（93.6%）が「再来日したい」と回答し、1名が「しない」と答えた。これらの結果から判断すると、ほとんどの留学生がKUSEPに対しある程度の満足感をもち、KUSEPを友達に奨められるプログラムと考えていることがわかる。再来日の意志からみても、日本に良い印象を持っていると推定できる。

次に、満足度にどのような要因が影響を与えるかを調べた。16項目を変数として、1変数づつを満足度とペアにし統計学的に検定すると（対応なしt検定）、2つの項目で有意の差が見られた。日本語が「必修科目で良い」と答えている者が「必修でなくともよい」と答えている者より、チューターが「役に立った」と答えた者が「役立たない」と答えた者より満足度が有意に高かった。

個々の独立変数から他の独立変数の影響を取り除いたときの、1つ1つの変数の満足度（従属変数）に与える影響の大きさを、数量化論理I類を使って調べた。カテゴリー・ウエイトはある項目（独立変数）のあるカテゴリーに属することによって、満足度の値がどのように動くかを表している。変相関係数は各独立変数の影響の強さを表す係数である。16の独立変数全体の影響の強さは重相関係数で、寄与率は重相関係数の2乗で表される。一番影響の強い項目は「チューターの有効性」であり、以下「選択必修科目が日本理解に役立ったか」、「日本語クラスが自分のレベルに合っていたか」、「KUSEPを選んだ理由」が続く。今後KUSEPに参加する学生の満足度を更に上げようとするれば、この4点の改善が有効である。一方、「修了書の取得」、「日本語の

単位の取得」,「単位の互換」,「日本人学生との交流」は影響力が小さかった。これらを改善してもすぐに満足度が上昇しないであろうが,学生の授業への参加と学生間の交流に関係する重要な要因である。特に「日本人学生との交流」は留學生の方からの視点だけでは十分ではない。日本人学生からの評価も必要である。

全般として重相関係数は0.637で寄与率は0.406とそれ程大きくはない。ここでの分析には住環境という重要な項目が変数として入っておらず,それが寄与率が高くなかった原因の一つであろう。今後の調査では住環境に対するコメントを書いてもらえばかりではなく,評価する項目を追加し分析に加えることにより重相関係数が大きくなる可能性が高い。

終わりに

このアンケート調査から,KUSEPは多くの留學生から,全体としては良い評価を得ていることがわかる。しかし個別の問題ではいまだに整備されていない点も多数残っている。中でも大きな問題として,KUSEPを積極的な理由で選んでいる学生をどう選抜するか,日本語の教育に係わる問題,日本理解のための科目の充実,チューターを含めた日本人学生との関係,等があげられる。最後の問題に関しては,日本人学生からの視点も含めて検討しなければならない。金沢大学で解決できる問題については大学が主体的に取り組まねばならないが,一方では派遣大学と協力して取り組まなければならない問題もある。派遣大学との情報交換を密にして対処していく必要がある。

【資料：質問と回答の結果】

Survey for Short-Term Exchange Students

I . Individual Information

- 1) Name of your University and its location
- 2) Major field of study minor (s)

II . KUSEP Program Guide, Syllabus

Q-1 . Were you able to obtain sufficient materials about the program and its classes before coming to Japan ?

Yes : 39 No : 8

Q-2 . Were you able to get sufficient information about classes through those materials or academic orientation ?

Yes : 38 No : 9

Q-3 . Please explain the reason why you chose the KUSEP Program. (表-2)

III . Japanese Language Education

Q-4 . Do you think Japanese Language should be a compulsory course ?

Yes : 45 No : 1

Q-5. Were you able to get language education suitable to your level ?

Yes : 37 No : 8

Q-6. Comments about the Japanese Language education, if you have any. (表-3)

IV . Sub-Core Curriculum

Q-7. Do you think the Sub-Core classes (compulsory elective) were worthwhile for KUSEP students ?

Yes : 38 No : 8

Q-8. Do you feel that the Sub-Core classes helped you understand Japan better ?

Yes : 36 No : 8

Q-9. Comments about the Sub-Core classes, if you have any. (表-4)

V . Elective Classes

Q-10. What elective classes were you interested in taking ? (表-5)

Q-11. Please write your reasons for taking the classes that you did take (course then reason) . (表-6)

VI . Independent Research

Q-12. Were you able to find a suitable supervisor for your research ?

Yes : 21 No : 2

Q-13. Were you satisfied with the supervisor and his or her guidance ?

Yes : 23 No : 1

Q-14. Comments about your Independent Research, if you have any. (表-7)

VII . Exchange between Students

Q-15. Do you feel that the KUSEP Program gave you the opportunity to interact with students from various countries ?

Yes : 47 No : 0

Q-16. Were you satisfied with the interaction that you had with Japanese students ?

Yes : 25 No : 22

Q-17. If you have selected "No" please state the reasons why. (表-8)

Q-18. What kinds of classes or events do you think would improve interaction between KUSEP and Japanese students ? (表-9)

VIII . Certificate of Completion/Enrollment/Credits

Q-19. Does the Certificate of Completion provide a goal for entering or completing the program ?

Yes : 29 No : 17

Q-20. Do you feel that the completion requirement of 20 credits is reasonable ?

Yes : 45 No : 1

Q-21. Is the Certificate of Enrollment useful even if you do not receive the Certificate of Completion ?

Yes : 26 No : 15

Q-22. Does your university at home recognize the credits from Kanazawa University ? (Check one)

- All of the credits will be recognized. 16
- Some of the credits will be recognized. 7
- None will be recognized. 12
- I do not know yet. 11

IX . Study/Living Environment

Q-23. Please tell us some things about your living environment that were good. (表-10)

Q-24. Some things that need improvement. (表—11)

Q-25. Was your university-provided tutor helpful in your studies ?

Yes : 27 No : 19

X . Overall View of the KUSEP Program

Q-26. How would you rate your satisfaction with the KUSEP Program on a scale of 1~5 ?

(1 being not satisfied at all and 5 being extremely satisfied)

1 : 0 2 : 0 3 : 10 4 : 27 5 : 10

Q-27. Would you recommend the program to other students ?

Yes 46 No 1

Q-28. Do you think you will return to Japan in the future for study or work ?

Yes 44 No 1

表-1 地域別留学生数

地 域	KUSEP 全体 (%)	回答者 (%)
ア ジ ア	32 (29.1)	15 (31.9)
オーストラリア	9 (8.2)	5 (10.6)
ヨ ー ロ ッ パ	37 (33.6)	14 (29.8)
北 米	32 (29.1)	13 (27.7)
合 計	110	47

表-2 留学生が KUSEP を選んだ理由

理 由	頻 度			
	アジア	オーストラリア	ヨーロッパ	米 国
KUSEP は日本語の勉強や異文化体験のために魅力的だった	0	0	1	0
日本語	0	0	3	0
日本と英語を勉強したかった	1	0	0	0
日本文化	1	0	3	0
日本への興味	6	2	2	0
日本に行く良いチャンス	0	0	1	0
KUSEP は魅力的だった	1	0	0	0
魅力的だった	0	0	0	1
興味があったから	1	2	0	0
よくまとめているから	0	1	0	0
協定校	1	0	5	8
単位交換	0	0	0	1
奨学金	1	0	0	2
先輩のすすめ	1	0	0	0
KUSEP はいったいどういうコースかは来る前によく分らなかった	1	0	0	0
自分で選択しなかった	0	0	0	1
合 計	14	5	12	13

表-3 日本語クラスについてのコメント

コメント	頻度
満足している	1
いっぱい練習させていただき、おかげさまで日本語が大分上手になった	1
面白かったけれども、とても難しい	1
もっと高いレベルへ行くことができれば、いいと思う	1
レベルに相応しかった	1
placementtest は難しすぎる	1
placementtest は留学生の日本語のレベルを正しく示さない	1
時々テストをさせ、自分に適当なクラスで勉強できるように	1
12人以上ならクラスをわけてほしい	1
クラスは大きすぎることもあった	1
日本語の基礎は良く分かるようになった。テストの方法は日本語の理解より暗記することを重視する	1
もっと会話したかった	2
文法の授業は日常生活にもっと合うようにしてほしい	1
文法ばかり、自分からの発言できる時間が与えられていない	1
文法を英語で説明して欲しい。先生方はよかった	1
宿題が多すぎる	1
不満足。母国の授業やり方と異なり苦労した。進む速さが速過ぎる。文法を本当に使う時間が与えられていない	1
母国の日本語の授業のやりかた方と異なって、最初は難しかった	1
先生方はよくやってくれた。しかし学生を大人扱いしていない質問するのは望ましくない	1
先生方はよくやってくれたし、学生の面倒も見た。日本語 C1クラスはあまり難しくなかった	1
日本語 A/B/C を週5回にしたほうがいい	1
Aクラスでのテープの使用はあまりよくない。特に最初テープは速すぎてついていけなかった	1
日本語 B クラスはよかった。日本語 C クラスはあまりよくなかった。漢字 B と C クラスはともよかった	1
日本語 C1クラスの教科書が好きになれなかった。文法などの説明は不十分。会話クラスのレベルについていけなかった	1
漢字 C クラスはよかったが、漢字 D クラスは大変難しかった。テキストなどは勉強しにくかった	1
いろいろ問題があった	1
クラスは朝早すぎる	1
無回答	18

表-4 選択必修科目に対するコメント

コメント	頻度
面白かった	3
面白かった。日本や金沢の文化をよく理解できた	1
面白かったが、ほかのクラスとあまり変わらない	1
面白くないテーマもあった	1
選択必修のクラスはよかった	1
楽しかった	1
よかった	2
とてもよかった。日本語のクラスの宿題は多すぎたため他のクラスは取れなかった	1
フィールドトリップをするのは良かった	1
日本の歴史の授業が欲しい	1
選択必修科目はもっといろいろなものがあつたほうがいい	2
授業を自分で選択したい	1
もっと深くしてほしい	2
それぞれのクラスの必要条件はクラスの最初にもっとはっきり教えるべき	1
90分の講義よりも討論し、小さいグループで勉強をする	1
先生方の英語能力は低かった。日本語でのほうがいい	1
日本語レベルを向上させるために、英語を母国としていない学生のために選択必修科目は日本語で行うべき。レジメは英語で	1
Hoornaert先生のクラスは面白かった。外国人として日本での生活経験	1
日本人の心理と思想は面白かったけれども、日本人論は大切ではなかった	1
英語のコースはちょっと弱かった。週に一回だけだった	1
その他（日本文化体験が一番面白いクラスだった）	1
無回答	22

表-5 取りたかった選択科目

科 目	頻度	科 目	頻度
日本文化体験	30	日本の自然と生物	3
武道	16	計算科学	2
日本人論	3	物理学	2
言語学	3	流体力学	2
経済	3	電気技法	2
日本の言語と文化	2	日本経済	1
文化比較	2	自然環境と野生生物	1
比較政治学	2	地球環境科学	1
すべての日本文化に関する授業	1	土木建設工学総論	1
日本文化関係	1	CAD	1
道	1		
心理学	1	自主研究	2
日本人の心理と思想	1	たくさん	1
カズオ・イシグロの世界	1		
ディスカッション・クラス	1		
日本の政治・法制・社会入門	1		

表-6 選択科目を選んだ理由

理 由	頻度
興味があったから	26
文化について学びたかった	1
日本人や日本文化への理解が深まるから	3
日本の生活がわかるようになる	1
日本人の文化が触るような授業	1
日本文化を知りたかった。	2
日本文化関係の科目は全部取った	1
文化に関するクラスは面白かった	1
文化等についての情報が得られた	1
自分の専門か専門に近いから	4
専門の勉強をしたかった	1
自分の大学でできないから	2
日本人の学生との討論が面白かった	1
役にたった	1
空手道はすでにやっていたから武道のクラスを選んだ	1
教室での授業よりも武道は日本の文化を直接触れあうきっかけになったから	1
武道に興味があったから	1
言語学入門は日本語に役に立つと思った	1
日本文化体験クラスでたくさん勉強できた	1
こういうクラスがあるから	1
法学の授業も取りたかったけれども、なかった	1
専門のクラスの先生方の英語能力は低かった	1
無回答	2

表-7 自主研究に対するコメント

コメント	頻度
とても良かった	4
先生に感謝している	2
とても面白かった。	1
研究のためにとても役にたった	1
日本文化理解のためにとても役にたった。とても感謝している	1
難しかったけれども役に立つ	1
武道書の翻訳はとっても勉強になった	1
研究の機会をあたえられた	1
小立野キャンパスは遠い	1
指導教官を見つけるのがちょっと遅かった	1
来る前に自主研究について考えるべき	1
わたしの専門に当てはまる分野がなかったのでできなかった	1
やってなかった	1
無回答	31

表－8 日本人学生との交流に満足できなかった理由

理 由	頻度
日本の学生人と会う機会があまりなかった	2
日本人と話す機会が少ない	2
会館外で日本人と接する機会は少なかった	1
日本人の学生と一緒に何もできなかった	1
日本人学生との交流はなかった	1
日本人と友だちになりにくい	1
個人的な意見ですが、日本人と話しにくいではないかと思う	1
留学生だけで会話をした気がする	1
孤立していた	1
なんだかみんな西洋人に興味があるような気がする	1
私の日本語力がたりなかった	1
KISS と Tomodachi の活動以外に日本人、日本人学生と会う機会が少なかった	2
KISS と Tomodachi は大切だが、彼等の活動はちょっと堅苦しかった	1
留学生だけではなく、日本人と一緒に寮のほうがいい	6
日本人と一緒にのクラスが欲しい	4
無回答	25

表－9 どんなクラスやイベントが KUSEP の留学生と日本人学生の交流を改善すると思いますか

改善点	頻度
KISS * と Tomodachi * はとても役にたった。	2
KISS * のメンバーからチューターを選ぶと友だちはつくりやすい	1
KISS * と Tomodachi * の日本人学生以外に友達を作ったほうがいい。たとえばチューター	1
KISS * はとても大切だ。メンバー以外に日本人と話すチャンスがなかった	1
KISS * と Tomodachi * のメンバーは自分達のグループの中でお喋りなどをしたが、留学生との交流は足りない	1
KISS * と Tomodachi * の活動は面白くなかった	1
KISS * 以外のイベントもほしい	1
日本人学生のサポートに感謝している	1
日本人と一緒にのクラス	14
留学生だけではなく、日本人と一緒に寮のほうがいい	4
集まるためのバー設ける	1
大学のイベントは留学生のためだけではなく、武道のクラスのように日本人学生と一緒に勉強したい	1
イベントは充実していると思う	1
留学生以外が参加するイベントもほしい。Chatsessions	1
日本人と一緒に催し物に参加する	2
日本人の学生と一緒に旅をする	1
スポーツイベント	1
難しい。ディスカッション・クラスに出たが、日本人はディスカッションにあまり参加してない	1
部活に参加すること	1
サークルのメンバーによるサークル紹介	1
部活からもっと積極性が欲しかった	1
無回答	15

* 留学生と交流する学生ボランティア団体

表-10 住環境で良かった点

良かった点	頻度
キャンパスへの近接	4
大学に近いし、自転車があれば町もそんなに遠くなかった	1
スーパーが近く便利	2
自然環境はいい	1
寮は良かった	5
寮の部屋は良かった	17
common room は良かった	4
きれい	1
家賃は安い	3
異文化が豊富	1
留学生交流会館の学生は素晴らしかった	1
他の国の人との出会い	1
世界中からの人と一緒にすんだこと	1
外国人と一緒にだったことは最初よかったが、後になってあまりよくなかった	1
みんながとても親切だった	1
先生とスタッフは皆親切	5
暖房と冷房	2
インターネットアクセス	6
独立していた	1
奨学金	1
家庭滞在はよかった	1
無回答	4

表-11 住環境で改善するべき点

改善点	頻度
学生の口座は郵便局でのほうがいい	1
銀行等の大切なところでは英語が通じない	1
三月のお金の調整	1
公衆電話の充実	1
図書館の英語の本が少ない	1
図書館の解放時間を長くしてほしい	1
町から離れて不便	5
バス代は高すぎる	5
交通は不便だ	3
大学までの道の照明	1
大切な情報は日本語と英語で	1
英語がもっと上手なチューターを利用すべき	1
寮の中の共通語は英語、日本語ではなくという問題	1
暖房	1
暖房は高かった	1
冬の間、建物の内部が寒すぎる	1
洗濯機もよくなかったし、服が破れた	1
コインランドリが臭い	1
オープンがないということを知らせて下さい	1
電子レンジ	1
インターネットアクセスは各部屋に欲しい	5
部屋の広さがちょっと狭い	1

会館内でもっと厳しく管理して下さい	1
留学生の何人かがゴミを散らかした	3
留学生は common room をもっと管理しなくてはならない	1
寮の中の活動	1
寮全体を禁煙して下さい	1
留学生だけではなく、日本人と一緒に寮	2
日本人と一緒に寮のほうがいい。生活支援についてすべてしないで	1
フライトのチケットやビザの手続きをもっとはやめに	1
無回答	13

表-12 数量化理論Ⅰ類の分析結果

項目	カテゴリ	カテゴリ・ウェイト	偏相関
1) 性別	1 男	0.17307	0.20234
	2 女	-0.10384	
2) 留学期間	1 半年	-0.33862	0.03781
	2 一年	0.07814	
3) 専門分野	1 文系	0.01430	0.02038
	2 文理系	0.01430	
	3 理系	-0.03146	
4) 日本語の単位取得	1 取得	0.00886	0.02376
	2 非取得	-0.03840	
5) 修了証の取得	1 取得	-0.05493	0.02272
	2 非取得	0.00319	
	3 その他	0.20897	
6) 来日前資料入手 2-1 (Q-1)	1 はい	0.05157	0.12102
	2 いいえ	-0.27848	
7) 情報入手 2-2 (Q-2)	1 はい	0.01520	0.04662
	2 いいえ	-0.10637	
8) KUSEP を選んだ理由 (Q-3 改変)	1 自分の興味	0.05072	0.26530
	2 制度がある	-0.25636	
	3 その他	0.92810	
9) 日本語レベル適正 3-2 (Q-5)	1 はい	0.14709	0.33518
	2 いいえ	-0.63741	
10) 選択必修科目の有用性 4-1 (Q-7)	1 はい	-0.05549	0.17820
	2 いいえ	0.29962	
11) 選択必修科目の日本理解 4-2 (Q-8)	1 はい	0.12509	0.38202
	2 いいえ	-0.67548	
12) 日本学生交流 7-2 (Q-16)	1 はい	-0.02278	0.03518
	2 いいえ	0.03796	
13) 修了証取得は修了の目標 8-1 (Q-19)	1 はい	-0.08550	0.18696
	2 いいえ	0.21850	
14) 参加証は有用 8-3 (Q-21)	1 はい	-0.12004	0.22736
	2 いいえ	0.22916	
15) 単位互換 (Q22)	1 ある	-0.00362	0.00400
	2 ない	0.00319	
16) チューターは有効 9-3 (Q-25)	1 はい	0.24393	0.38674
	2 いいえ	-0.35651	
定数		4.09375	
重相関係数 (2 乗)	0.63671 (0.40539)	平均予測誤差	0.51490

Evaluation of Kanazawa University Student Exchange Program by Students

Takao Okazawa and Heiko Bittmann

Abstract

Kanazawa University Student Exchange Program (KUSEP) received more than 100 international students from overseas institutes that have exchange agreements with Kanazawa University, between 1998 and 2002. In order to evaluate and improve KUSEP, a questionnaire was given to participating students. The survey included questions on curriculum (such as compulsory: Japanese Language Classes, semi-compulsory, elective and independent research), the recognition of credits, the certificate of completion, exchanges between the student body, as well as living and studying environment. Satisfaction of students with KUSEP ranged from 3 to 5, on a scale of 1-5, 1 being not satisfied at all and 5 being extremely satisfied. The average was 4.0. The results were analyzed using the Hayashi Quantification Method I. The largest factor affecting student satisfaction was the usefulness of their Japanese tutor, followed by the semi-compulsory classes for understanding Japan, the appropriateness of the Japanese Language Classes with respect to level, and the reasons for selecting KUSEP.